

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

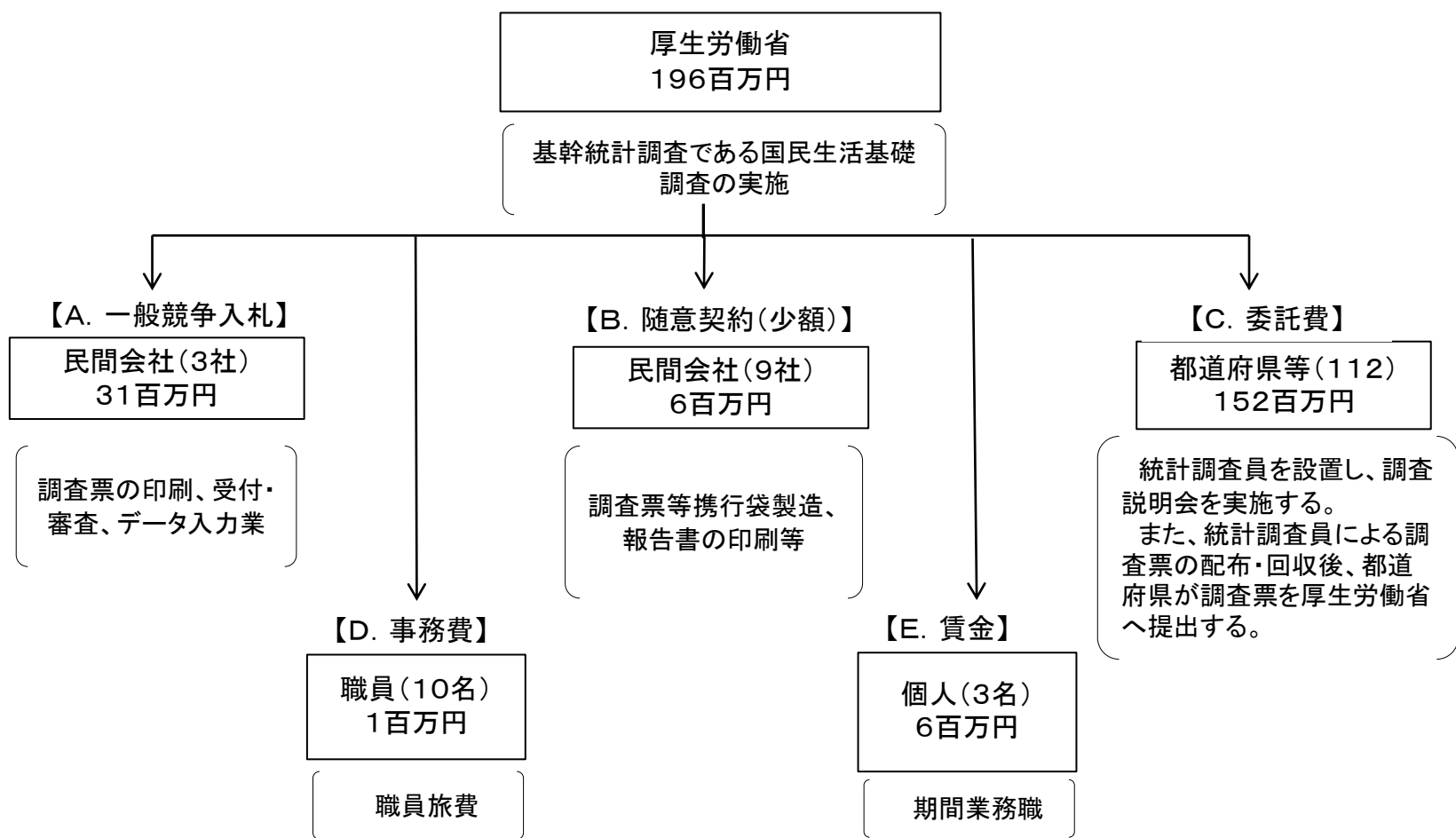
事業名	国民生活基礎調査費			担当部局庁	政策統括官(統計・情報政策担当)		作成責任者			
事業開始年度	昭和61年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	世帯統計室		世帯統計官 中村 年宏			
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	・統計法(平成19年法律第53号)第9条 ・国民生活基礎調査規則(昭和61年厚生省令第39号)			関係する計画、通知等	・「健康日本21」及び「がん対策推進基本計画」(健康診断・健康診査の受診率、がん検診の受診率) ・「医療計画について(各都道府県知事あて医政局長通知)」平成19年医政発第0720003号					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	基幹統計調査である国民生活基礎調査を実施し、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的な事項を調査し、厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定することを目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	昭和61年を初年として3年に1回、世帯の状況の総合的把握及び地域別観察が可能な大規模調査を実施し、その中間の各年については、世帯の基本的事項及び所得の状況を把握する簡易な調査を実施している。 全国の世帯及び世帯員を対象とし、国勢調査地区から層化無作為抽出した地区における全世帯及び全世帯員を調査の客体とし、地方公共団体において任命された調査員が世帯を訪問し、調査を行う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 「保健所」調査員対象世帯 「福祉事務所」調査員対象世帯 </div> 国—都道府県等—									
実施方法	直接実施、委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算の状況	当初予算	585	178	209	553	220			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		585	178	209	553	220			
	執行額		554	165	196					
執行率(%)		95%	93%	94%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 28年度
	統計調査の実施状況(統計データを遅滞なく公表しているか。)		成果実績	調査	調査	1	1	1	-	-
			目標値	調査	調査	1	1	1	-	1
			達成度	%	%	100	100	100	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	国民生活基礎調査 客体数:世帯 平成28年度公表時期:平成28年7月		活動実績	世帯	295,367	59,474	59,425	-		
			当初見込み	世帯	270,000	55,000	55,000	270,000		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	執行額/調査客体数		単位当たりコスト	円	1,878	2,788	3,315	2,050		
			計算式	千円/千世帯	553,972千/295千	164,501千/59千	195,565千/59千	553,477千/270千		
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	職員旅費		1	1	大規模調査(平成28年度)から小規模調査(平成29年度)による減額					
	厚生労働調査費		51	40						
	国民生活基礎調査等委託費		501	179						
	計		553	220						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策									
		施策									
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
				実績値	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
		-									
		経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-					
			(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	成果実績			-	-	-	-	-	-		
	目標値			-	-	-	-	-	-		
	達成度		%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	厚生労働行政の企画・立案に資する基礎資料を得るための統計調査を行うために欠かせない事業であり、広く国民からも利用されており、ニーズを的確に反映している。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	基幹統計であり、厚生労働行政の基礎資料となるもので、国が実施すべき事業である。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	調査結果は広く国民のニーズがある他、政策立案等に利用されており、優先度の高い事業となっている。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	随意契約については、会計法令上認められている少額の随意契約である。						
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	適正な予算執行及びコスト削減に努めている。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	厚生労働統計の実施に必要な最小限の費途・使途に限定されている。						
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	調達において、可能な部分について一般競争入札を実施する等、効率的な調達を実施している。							

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	厚生労働行政の施策決定に係る基礎資料である統計データを作成することを目的とした事業であり、遅滞なく統計データを公表しており、成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	厚生労働行政の施策決定に係る基礎資料である統計データを遅滞なく公表しており、見込みに見合ったものである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物は、厚生労働行政の企画・立案に資する基礎資料となっており、十分に活用されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-		
点検・改善結果	点検結果	成果目標である「調査の実施」については、当初計画どおり円滑に調査を実施した。「調査結果の公表」については、前年度に実施した調査は、3年周期の大規模調査の実施年であったが、遅延なく公表を行い、調査票の回収率は約80%と調査環境が年々悪化する中、その前年度調査と同水準を維持している。				
	改善の方向性	特に問題となる課題は抽出されていないが、今後も引き続き効率的な調達と、円滑な調査実施及びわかりやすい公表資料の作成、早期公表に努める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	自治体ごとの調査員規模の妥当性を確認の上、引き続き必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	11	平成23年度	11	平成24年度	11	
平成25年度	922	平成26年度	921	平成27年度	927	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・用途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と用途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.株式会社太陽美術			B.大和綜合印刷株式会社		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
印刷製本費	平成28年国民生活基礎調査 調査関係書類一式印刷	26	雑役務費	調査票等携行袋製造	2
			印刷製本費	平成26年国民生活基礎調査 報告書一式印刷	2
計		26	計		4
C.東京都			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
調査員手当等	統計調査員等への手当	8			
記入者手当	記入者手当	2			
庁費	郵送料、消耗品購入等	1			
旅費	地区別事務打合せ会議出席旅費等	0.9			
計		11.9	計		0

支出先上位10者リスト

A.一般競争入札(3社)

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社太陽美術	6010601003790	平成28年国民生活基礎調査 調査関係書類一式印刷	26	一般競争入札	3	73.7%	-
2	株式会社アクト・ジャパン	9030001054232	平成27年国民生活基礎調査 受付・審査及びデータ入力業務一式	5	一般競争入札	5	58.1%	-

B.随意契約(少額)(9社)

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大和総合印刷株式会社	6010001021699	調査票等携行袋製造	2	随意契約(少額)	-	100%	-
2	大和総合印刷株式会社	6010001021699	平成26年国民生活基礎調査 報告書一式印刷	2	随意契約(少額)	-	100%	-
3	(株)三陽堂	1010901004980	指導員・調査員証用吊り下げケース購入	1	随意契約(少額)	-	100%	-
4	(株)オリエンタル物流	9011801019764	平成27年国民生活基礎調査 民生調査票関係梱包発送	0.8	随意契約(少額)	-	100%	-
5	株式会社LOCUS	7011001064654	平成28年国民生活基礎調査 広報用 YouTube掲載動画改修に係る業務	0.6	随意契約(少額)	-	100%	-
6	独立行政法人国立印刷局	6010405003434	官報掲載(平成28年国民生活基礎調査 調査票受付・審査・データ入力業務)	0.1	随意契約(少額)	-	100%	-
7	独立行政法人国立印刷局	6010405003434	官報掲載(平成28年国民生活基礎調査 調査関係書類一式印刷)	0.1	随意契約(少額)	-	100%	-
8	(株)大和プリント	2010501030336	平成26年国民生活基礎調査 概況印刷	0.1	随意契約(少額)	-	100%	-
9	有限会社タケマエ	3010002049767	光ディスク(CD等)用レンジャーパックの購入	0	随意契約(少額)	-	100%	-

C.委託費

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京都	8000020130001	統計調査員による調査票の配布・回収後、都道府県が調査票を厚生労働省へ提出	12	-	-	-	-
2	北海道	7000020010006	統計調査員による調査票の配布・回収後、都道府県が調査票を厚生労働省へ提出	5	-	-	-	-
3	埼玉県	1000020110001	統計調査員による調査票の配布・回収後、都道府県が調査票を厚生労働省へ提出	4	-	-	-	-
4	大阪府	4000020270008	統計調査員による調査票の配布・回収後、都道府県が調査票を厚生労働省へ提出	4	-	-	-	-
5	千葉県	4000020120006	統計調査員による調査票の配布・回収後、都道府県が調査票を厚生労働省へ提出	4	-	-	-	-
6	愛知県	1000020230006	統計調査員による調査票の配布・回収後、都道府県が調査票を厚生労働省へ提出	4	-	-	-	-
7	横浜市	3000020141003	統計調査員による調査票の配布・回収後、都道府県が調査票を厚生労働省へ提出	3	-	-	-	-
8	大阪市	6000020271004	統計調査員による調査票の配布・回収後、都道府県が調査票を厚生労働省へ提出	3	-	-	-	-
9	茨城県	2000020080004	統計調査員による調査票の配布・回収後、都道府県が調査票を厚生労働省へ提出	3	-	-	-	-
10	兵庫県	8000020280003	統計調査員による調査票の配布・回収後、都道府県が調査票を厚生労働省へ提出	3	-	-	-	-

